

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	びこっと（児童発達支援事業）		
○保護者評価実施期間	2025年 7月 19日		～ 2025年 12月 17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	2025年 7月19日		～ 2025年 12月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月17日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別での発達支援を実施し、必ず保護者の方に同席してもらっています。職員の関わり方、お子さんの行動観察を通して、お子さんの特性の共通理解や支援の方法について一緒に検討しながら支援しています。	お子さんの行動観察と相談援助を実施しています。	就労しているご家族などそれぞれのニーズに応じてサービス提供の頻度を柔軟に実施しています。今後も、一人ひとりのニーズに応じた支援の在り方をさらに取り組んでいきます。
2	評価キットを活用し、できること・できないこと・できそうなことを観察して、支援計画を組み立てて支援しています。	アセスメントシートを活用して、評価を実施し、ニーズに応じた支援を組み立てています。	よりさまざまなお子さんの状況やニーズに合わせた評価キットの充実をしています。
3	ご家族の状況に応じて、ペアレントトレーニングの提供を実施しています。	個別のご家庭のニーズに合わせたペアレントトレーニングの提供を行ってきています。	より一人一人のお子さんやご家族の状況に合わせた柔軟なペアレントトレーニングなどの家族支援プログラムの充実を図っていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルなどの整備とご家族への周知がアンケート結果から不十分であることがわかりました。	数多くあるマニュアルについて、十分に丁寧に説明をすることや、継続していつでも確認できる状態になっていないこと。	いつでも確認していただくことができるようにあらためてマニュアルを整備して、周知することについて工夫をしていきたいと思っています。
2	お子さんが通う保育所等や相談支援事業所などの関係機関との連携をより充実させていくこと。	限られた業務時間、人員配置の中で十分に対応できる時間や人材の余裕がないこと。	直接対面での連携に限らず、相談支援ファイル「かけはし」の活用や、その他柔軟な形での連携を取って、地域全体でそのお子さんの支援を充実させていけるようにさらに努めていきたいと思っています。
3	個別での発達支援のみを実施してきているために、集団での取り組みや幼稚園、保育園などとの交流の機会がない。	1時間という短時間でのサービス提供のため、交流の機会を作ることが難しい。	事業所内ではなく、日常通っている幼稚園・保育園での経験や取り組みの様子をより把握して支援の在り方を検討していきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		びごっと（児童発達支援事業）		公表日		令和 8年 1月 15日		利用児童数		6		回収数		5	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応							
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5												
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5												
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5												
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5												
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5												
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3			2								ホームページ上に公表していますが、公表していることがまだ周知できていないのかもしれないと思います。今後周知をしていきたいと思っています。	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5												
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5												
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				1								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				1								
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		2	1	2								1時間の個別療育のため、地域との交流をする機会がありません。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5												
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5												
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5												
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5												
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5												
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5												
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2		1	2								お父さんの会を定期的に開催してきています。きょうだい同士の交流の場については現状ではまだ実施できていません。今後検討していきたいと思っています。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5					
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3			2		利用時に個人情報の取り扱いについての同意書を取り交わしています。幼稚園・保育園など関係機関との情報交換の際にはその都度確認を取っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2		2	1		年に1回訓練を実施しています。今後も周知・説明を心がけていきたいと思っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1		1	3		月1回、避難訓練を実施しています。今後も周知・説明を心がけていきたいと思っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4			1		ご家族の方に必ず同席していただき、万が一怪我や事故があったときにはその場で連絡、説明をしていきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名		びこっと (児童発達支援事業)				公表日	令和 8年 1月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・パーテーションや棚などで、ここは入れないなど分かりやすい。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・個別で対応なので多すぎず丁度いいのではと思う。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・課題は机とイス、遊ぶエリアはマットを敷くなど明確にエリアが分けられている。 ・洗面台が高い場合は、足台を利用している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・前日に利用していた子ども達の使った材料のきれくずなどたまにある。	来所前に清掃を心がけているが、不十分なきもあるので、徹底していく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・ブレイルームは開放しているからクールダウンに使える。 ・個別のため十分に対応できる		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2	・担当している職員同士ではしているが全体ではない。	記録は全員で確認し、目標に対する支援についての記録を共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・職員会議や上司との個別面談で意見や業務改善を話し合っている。 ・支援後何が次はできるかなどのは、立ち話でその場で確認している。 ・何かあれば意見を言うようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	3	・未回答 1 ・ちょっと分からないです。	直接、事業所への第三者による外部評価は実施していません。事業の報告を毎月法人本部へ報告したり、大和市児童発達支援事業所連絡会を開催し、お互いに意見交換を実施しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・定期的に内部研修が行われたり、法人全体での研修が実施されている。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・一人一人の好きなキャラクターや物などで課題を作ったりして取り組みやすい。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・評価キットを使った評価を実施し、職員や保護者と共有し、支援計画を作成しています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・個別の支援のため、所属職員全体では実施していないが、担当の職員のチームで行っている。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・固定化したものと、固定化していないものを組み合わせている。固定化が安心する子もいる。 ・特性に合わせて固定しているお子さんもいる。 ・運動内容を変えたり、新たな制作に取り組むようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	0	4	・個別の支援のみのため、集団活動は行われない。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・役割分担や支援内容について、来所前に話し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・次回に必要な物などもその場で共有できている。 ・気づいた点のみ、確認している。 ・記録を全員で共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・記録は客観的に記入することを心がけ、主観が入るときには主観であることがわかるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	定期的に相談支援事業所とモニタリングを実施して確認している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・必要に応じて行っている。 ・お子さんによっては保育所等訪問の利用を勧め、連携を取りながら支援にあたっている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	・卒園する児童については、これまでの支援をまとめた資料を作成し、ご家族へ提示し、小学校への引継ぎに活用してもらっている。 ・相談支援ファイル「かけはし」のプロフィールシートの作成を一緒に行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	1	・未回答1 ・必要に応じて行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・個別での発達支援を実施しているため機会がない。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・連絡帳でのやりとりや、面談時間に保護者と発達状況や課題について話している。 ・基本職員2人体制なので1人は利用児対応ができて保護者との話を1対1で聞きやすい。 ・常にご家族には同席していただき、一緒にお子さんの行動観察をし、フィードバックをするようにしている。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0		
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		・契約時に説明をしている。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		・常にご家族には同席していただき、一緒にお子さんの行動観察をし、フィードバックをするようにしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1		きょうだい児についてはまだ機会を設けることができていない。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		予約サイトを活用することで、いつでもすぐに面談の予約が取れるようにしている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		・毎月定期的に通信を発行し、ホームページや公式LINEで発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		・要求用のカードの使用や、具体物などを使ったコミュニケーションを実施している。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	0		・法人全体で年1回のお祭りを開催し、地域住民との交流を図っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		・職員間では周知しているが、保護者に十分周知ができていない。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		・災害時の備品準備があったり、職員間で話し合っている。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	4		・食品を扱う活動は行っていない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		・全体で周知している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		・法人で研修を実施している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1		・身体拘束を行うような利用児はいない。	必要に応じて実施していきます。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	びこっと（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和7年 7月 8日		～ 令和7年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	202名	(回答者数) 59名
○従業者評価実施期間	令和7年 7月 23日		～ 令和7年 7月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 8月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	高学年の児童に特化した放課後等デイサービスを提供しています。将来の自立した豊かな地域生活を送るための支援を充実させています。特に余暇支援についての支援を充実させています。	子どもたちひとりひとりが「わかった」「できた」という経験を積み重ねていくことができるように、ひとりひとりに合わせた支援を心がけています。余暇を広げ、充実していくためのプログラムの提供に力を入れています。	より充実した支援を提供していくことができるように、職員の支援スキルの向上を目指すべく、研修を充実させていきます。
2	不登校状態にあるなど個別な配慮が必要なお子さんに対して柔軟に対応してきています。	グループでのサービスが基本となっていますが、個々のお子さんの状況やニーズに応じて、時間や環境など柔軟に対応して個別支援を提供してきています。	時間や人員配置的にさらに充実することで、より柔軟なニーズに応じた支援ができると思います。また、学校等との関係機関との連携を図り、課題や問題の根本的な解決をすることができるような取り組みを充実させていきたいと思っています。
3	公式LINEやオンラインでの情報提供や情報交換ができ、よりタイムリーにさまざまな情報を提供、共有することができています。	公式LINEを活用し、さまざまな情報提供をするとともに、いつでも、身近に相談したり、事業所への意見などを伝えることができるような仕組みを工夫してきています。	LINEを使用していないご家庭にも、十分な情報提供や事業所とのやり取りをすることができるようにさらに工夫をしていきたいと思っています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアルなどの整備とご家族への周知がアンケート結果から不十分であることがわかりました。	数多くある各種マニュアルについて、十分に丁寧に説明をすることや、継続していつでも確認できる状態になっていないこと。	いつでも確認していただくことができるようにマニュアルを整備して、周知することについて工夫をしていきたいと思っています。
2	お子さんが通う学校等や相談支援事業所などの関係機関との連携をより充実させていくこと。	限られた業務時間、人員配置の中で十分に対応できる時間や人材の余裕がないこと。	直接対面での連携に限らず、相談支援ファイル「かけはし」の活用や、その他柔軟な形での連携を取って、地域全体でそのお子さんの支援を充実させていけるように努めていきたいと思っています。
3	さまざまな防災や災害に関する研修や訓練を実施することや、その情報をご家族へ周知していくことが不十分であること。	限られた業務時間、人員配置の中であらゆる想定をした研修や訓練を十分に実施できていないこと。事業所内だけでは知識や技術の限界がある。	防災や災害については、事業所内だけで取り組むのではなく、地域と連携をして実施していく必要があると思います。法人内だけでなく、行政や地域の方々とのつながりを作り、有事に備えていけるように努めていきたいと思っています。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 びこっと（放課後等デイサービス）

公表日 令和 8年 1月 15日

利用児童数 202名

回収数 59名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	54	5	0	0	部屋が何箇所もあり活動スペースには十分です。 広く活動しやすいと思います。 十分なスペースがあると思う	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	56	1	0	2	最低でも3人くらいはついて頂けると 思っていますので十分です。 職員の方が沢山いてくださり皆様優し く対応して下さいます。 全ての子どもの把握出来る人数が配置さ れていると思う	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	51	2	1	5	分かりやすくすぐ順応できていました。 分かりやすく使えやすく、問題ないと思 います 中に入って確認が取れない為わからない です バリアフリーは難しそう。	予定を伝えるときに、絵や写真、文字な どひとりひとりのお子さんに合わせて伝 えることを大切にしてきています。今後 も、ひとりひとりに合わせた情報伝達に ついて、工夫をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	57	1	0	1	とても綺麗で明るい雰囲気です。 すっきりと整理整頓されていて過ごしや すい空間だと思う	
適切 な支 援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	56	1	0	2	一緒に作業してないので分からない。 優しく本人にあったご支援をいただい ています。 子どもは先生方を信頼して安心して過 ぎせていると思う 集団が辛くなり、個別対応していだ だき、安心する活動ができて有り難い です 子供の状況に合わせて支援していただ いていると思います。	今後も、ひとりひとりのお子さんのニ ーズに沿った支援を心がけていきたい と思います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	53	2	0	3	子どもの日常に役立つ内容だと思う	
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	57	2	0	0	しっかりと聞き取りをされて作成してく ださっていると思う 子供の特性を考慮して計画していただ けていると思います。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いま すか。	52	3	0	4	分かりやすく具体的に設定していただ けると思う	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	58	0	0	1	今年度、参加出来ていないので分から ない	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	51	6	0	2	生活に役立つ様々なプログラムを用意 していただいています。 今年度は参加出来ていないので分から ない たまに子どもが「またこれかー」など と言っているが、大人からみれば充分 工夫されているように見える。 様々なプログラムが組まれ色々 と経験させていただいていると思 います。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会 がありますか。	5	12	17	25	そういつた機会があるのかもしれませんが、 参加したことがなく分かりません。 本人が放課後遊ぶ事を好まないの で、たまに遊ぶ程度です。 実際に交流しているところを見た ことがなく、息子も、詳しい事は 話さないの で、私の理解不足です。 普通の小学校で既に交流がある が、この施設の活動だけでは特 に交流する機会はない。	事業所としては、限られた支援 時間の中で、なかなか地域の 他の子どもとの交流の機会を 作る事ができていません。 例えば、近隣のお店に買い物 に行ったり、カフェに行ったり、 ウォークラリーで地域に出かけ たりなど、地域と関わる活動 を取り入れてきています。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	54	1	0	4	ありました		
13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされ ましたか。	55	2	0	2	沢山情報を伝えてくださいます。 色々な情報を提示していただ いていると思う		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	49	3	0	7		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	49	7	1	2	必ず子供の状態や近況を聞いてくださいます。 今年度は参加出来ていないので分からない 毎回、利用時にお話いただいております。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	49	6	1	3	今年度は参加出来ていないので分からない いつも相談ののって頂き、とても心強い です！！ 年一回の面談と毎回の利用時にお話して いただいております。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	54	3	0	2	親子共々優しくご支援をいただいております。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	36	8	3	12	なかなか参加出来ませんが、LINEでのお知らせは拝見しています。 父の会はよく開催されていると思います。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	47	4	0	8	今年度は参加出来ていないので分からない 対処していただいております。	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	55	2	0	2		
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	57	2	0	0	沢山情報をいただいています。大変助かっています。 行事予定は、よく拝見しています。参加出来ない行事が多いので、自己評価の結果はあまり記憶に無いです。 LINEで情報は得られるが、自己評価の結果はあったかどうか覚えていない。 高い頻度で更新されていると思います。	自己評価については年に1回、ホームページで公開しています。より皆さんに見ていただけるように発信をしていきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	53	4	0	2		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	8	0	18	マニュアルや訓練は、あまり覚えていません。 マニュアルはあったと思うが訓練はあったかどうか覚えていない	活動の中で防災を意識したプログラムを導入し、防災食を食べてみたり、避難の練習を実施したり、防災に関するクイズをして知識を得る活動を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	8	0	23	一年に一回はやっている。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	41	3	0	15		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	28	6	0	25	今までそういった状況になったことがありません。 実際に事故にあったことは無いのですが、活動の様子は詳しく説明して頂いて います。 いまだ事故が発生したことがないのでわからない。	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	57	1	0	1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	50	5	0	4	とっても楽しく通っています。 いつもとても楽しみにしています。 1回も行きたくないと言った事はありません。 毎回楽しみに通所しています。	

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。	52	6	0	<p>とても楽しく通っています。いつもありがとうございます。色々ご配慮いただき感謝しております。</p> <p>子供のために毎回違った活動を考えてあってありがたい。</p> <p>子供も毎回楽しみに通所しています。反抗期もあり、親子の会話が減ってます。びごっちゃんを通して、会話が出来る事もあり、息子は面談も楽しみにしています。いつも本当に有り難うございます！！</p> <p>本人が精神的に不安定なので、なかなか通所できていませんが、親から見ても、本人にとってやる事が明確で一番通いやすいと思います。これからどうぞ宜しくお願い致します。</p> <p>希望者が多いため、回数が少ないのが不満である。</p> <p>いつもお世話になっております。通常のクラス以外にも、興味のあるイベントやサークルがあり本当に楽しい時間を過ごさせていただいています。いつもありがとうございます！</p> <p>習字などあるといいなと思っています</p>	<p>あたたかいご意見をたくさんありがとうございます。</p> <p>在籍しているお子さんの人数がとても多いため、中高生は2~3ヶ月に1回の利用になってしまっているのが現状です。今後は、また改めて皆さんのニーズに寄り添った支援の在り方を検討していきます。</p>
-----	----	------------------	----	---	---	---	---

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	びこっと（放課後等デイサービス）				公表日	令和8年 1月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	利用人数により2～3箇所に分けることがある活動によりグループを分けたり、本のコーナーやプレイルームを活用している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	2	マンツーマンの子がいるときは職員間で協力する 個別対応のお子さんが多いと職員が足りないように感じることもある。グループを分けたり、内容を調整したりして対応している。 個別対応の人がグループ2～3人いると対応が大変になることがあった。2つに活動のグループを分けて対応なども増やしていいと思いました。	お子さんのそのときどきの状況や、特性に合わせた支援を心がけていきたいと思います。 個別対応のニーズが高いお子さんに対しての支援体制は常に工夫をしながら対応していきたいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	特性に合わせたスケジュールを使用している 活動室、プレイルームなど目的に合わせた部屋の使い方をしている。 トイレに手すりなどがある	ひとりひとりのお子さんに合わせた構造化、バリアフリーを心がけていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	定期的に掃除を行っている。必要があれば職員全員で掃除できる箇所を協力している たまにゴミなどがあるときも見られるが、見つけてその場で処理するようにしている	日ごろからの気づきを大切に、清潔に、整理整頓をしてより心地よく過ごすことができる環境を整えていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	こどものその日の状態や相性により個別の部屋を使っている 必要に応じ本のコーナーやプレイルームを使用している。 プレイルームを個別の対応の部屋としても使用している	今後も臨機応変に対応できるように常に準備をしていきたいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3	2	日々の小さな振り返りをする時間を持てたらよいと思う。 全体では少ない 職員会議で業務改善を話し合うほか、上司との個別面談で提案できる場面がある。その他、職員同士で気づいたときに話し合うこともある。	業務改善は今後も、工夫をし続けていくことが重要であると考えています。現状に満足せず常に改善していける職場を目指していきたいと思っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	記録に残して公開している。 面談や送迎のときに保護者に確認をしている。 年度はじめのアンケートで、保護者や本人の意向を把握している。全ての意向に応えられるわけではないが、職員会議などで意向があることを踏まえて話し合うことがある。	毎年、自己評価のアンケートを実施し、保護者の方の意向を把握し、改善に努めています。今後も、本人や保護者の意向等を確認しながら事業を進めたいと思っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	職員会議を行なっている グループの開始前に打ち合わせを行なっている。また、グループ後必要に応じて活動の見直しを行なっている。 職員会議や上司との個人面談で把握する機会があり、業務改善に繋げている。	毎月の職員会議で、業務改善についての意見を出し合って対応しています。今後も日ごろから気が付いたときに改善をしていけるように努めたいと思います。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	第三者委員会での報告を受ける	法人として、第三者による評価を受けています。また、理事会、評議員会に所長が参加し、定期的に事業所の報告をし評価を受けています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	スペシャルラーニングを活用した研修を実施している 定期的に勉強会を開催している。 年間で法人職員が全員参加する研修が実施されている他に、個人で参加する研修も随時募集され、個人的要望に沿った研修を受講できる。	常に学びを深め、支援の質の向上に努めることができるような職場環境作りをしていきます。 Eラーニング、対面での研修、外部研修への参加、研修報告など、法人の人財育成実施要綱に基づいた研修を取り入れていきます。

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	支援プログラムは、複数人の職員で話し合って作成されている。保護者や他事業所には、HPや公式LINEで伝えられ、子どもたちには活動後に次回の活動の予告をしている。	支援プログラムについてホームページに掲載されています。職員も含め、利用児やそのご家族とも共有しています。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	それぞれの子供に沿った個別支援計画を作成。日々の記録や支援計画を踏まえて、個々に合わせた支援の計画を考えて、実施している。	本人も含めて、支援計画を作成し同意を得るなど、よりひとりひとりのニーズに合った支援計画の作成を心がけていきたいと思えます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	利用児の人数が多いので、分担しながら計画案を作成し、児童発達支援管理者が作成するなど工夫をしている。また、誕生月毎に更新ができるように工夫をしている。	今後も、ひとりひとりのお子さんに合わせた支援計画を作成して支援にあたっていきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	支援計画に沿って事前に確認している活動前に、記録を参照しながら打ち合わせを行ない、その日に参加することも一人一人の支援について話し合っている。	計画の共有と実施後の振り返りを今後も心掛けてよりよい支援をしていきます。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	利用のときの様子は記録し、後日確認している。	紙ベースでの記録や資料をファイリングして確認していますが、より日々の支援に活用していただけるように工夫をしていきたいと思えます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	支援計画に具体的に記載をして支援にあっている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	事前に職員間で相談、確認しているお互いに案を出し合い、検討後決定している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	1年間で行なった内容はサンプルを2年分保管している。前年度とかさならない内容を考えている。	子どもたちが「わかった」「できた」という体験を積み重ねていけるように今後もさまざまなプログラムを提供していきます。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	子どもの状況を話し合った上で活動のあり方を提供している。	不登校やその他本人が感じている不安やニーズに応じて個別での対応を柔軟に提供してきています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	時間を決めて打ち合わせをしている毎回打ち合わせを行い、内容や担当などを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4	勤務時間の都合もあり、その日に振り返りをする時間を設定して振り返ることが難しい現状があるが、記録を共有することで対応している。個人的に職員間で話すことが多い。非常勤で退勤時間の都合上、全体で話す機会は少ない気づいた点、対応が難しかった点などはその場で共有するようにしている。	支援の振り返りなど、限られた時間の中で情報を共有する工夫をこれからも考えて実施していきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	記録を確認したとき、個人的に支援の検証や相談をすることが多い。客観的に記録することを心がけ、主観が入るときには主観であることがわかるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	誕生日月にモニタリングを行っている。また、希望された保護者との面談も行き、計画の共有や見直しを行なっている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	活動の中に季節の風物詩などを取り入れて、子どもの成長を職員確認できる内容を心がけている。	特に余暇の支援については力を入れてプログラムを設定しています。今後も、余暇の充実や広がり支援するさまざまなプログラムを提供していきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	制作では、色や形、質感の違う素材の中から子どもたちが自分で選べるよう、複数の素材を提供している可能な範囲で選択肢を示し、自分で選べるよう支援している	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1	サービス管理責任者だけでなく、担当している職員が参画することもある。	

関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	責任者からその都度報告を受けている	本人を取り巻く地域の関係者との連携を今後も充実させていきたいと思ひます。適切な情報交換ができるように、相談支援ファイルなども活用していきまひす。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	学校からの情報共有ではなく、職員が学校のHPで調べたり、保護者の方からの聞き取りで確認することが多い。	送迎がないので、学校との連携を密に取ることは少ないですが、お子さんの状況に応じて学校への訪問を定期的に実施するなど連携を取っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0	法人内で移行できるので、引き継ぎを行い、継続した支援ができるようにしている。必要に応じて臨機応変に行なっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	5	0	必要に応じて、臨機応変に行なっている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	定期的に会議を開催し、今後の地域での支援の在り方について検討をしている。地域生活支援公開講座として、一緒に研修を企画、開催をしている。	引き続き、地域の中核機能を持つセンターと協力して、地域の福祉の在り方について検討していきまひす。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	本部で年に1回、松風園まつりが行われ、地域のこども達がボランティアで参加するなど交流がある。	通常のプログラムの中ではあまり交流の機会はありませんが、近隣のスーパーに買い物に行ったり、カフェに行くなど、地域の資源を積極的に活用するようにしていきまひす。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	自立支援協議会の専門部会である児童部会の部会長を務め、積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合ひ、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	定期的に個人面談をしているグループ後のフィードバックや面談を利用し、お子さんの様子を伝え合っている。随時、電話での相談や来所しての面談にも応じている。	ご家族のニーズに応じて、電話や対面の相談だけでなく、メールを活用したり、公式LINEなどオンラインでの相談やサポートも実施していきまひす。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	特例子会社への見学や就労、将来の生活に関する勉強会などの保護者向け企画やお父さんの会などの活動を実施していきまひす。		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	何度初めにひとりずつ資料を提示して説明している。保護者との契約のときに説明を行なっている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	年度の始めに保護者とこどもの要望を聞くアンケートをしている。相談支援事業所とも連携を取って、以降の確認をしている。	今後も、よりひとりひとりのこどもの意向を確認できるように、意思決定支援について力を入れて支援していきまひすと思ひます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	半年に1回程度で、保護者に支援計画の説明を行い同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	随時、電話や来所での相談に応じ、必要な支援を行なっている。	より相談しやすいように工夫をしていきまひすと思ひます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5	0	イベントなどでは、通所している兄弟姉妹の、びこっとアートフェスタでは通所していない兄弟姉妹の交流する機会をつくらせている。定期的に父親の会を行ない、学習や交流をしている。びこっとでは、年に1回、アートフェスタを開催し、保護者同士の交流やきょうだい同士で交流する機会を設けている。	引き続き、イベントの企画を充実させて、本人だけでなく、ご家族への支援にも力を入れていきまひすと思ひます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	苦情などがあつたときには職員間で情報を共有し、改善策などを話し合っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	毎月、びこっと通信を発行し、LINEやHPなどのツールを活用し、活動内容や支援の情報などをこどもや保護者に発信している。	定期的に広報誌を発行したり、公式LINEを活用して情報提供をしていきまひす。
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人のファイルなどは鍵付きの棚に保管してある	個人情報の取り扱いには今後も十分に慎重に対応していきまひすと思ひます。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもや保護者の特性に配慮してコミュニケーションをしている お子さんに合わせた伝え方（文字、写真、具 体物など）を心がけている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	2	本部で年に1回、松風園まつりを開催し、地域 の住民と交流するなど、地域に開かれた事業 運営を図っている。	
非常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	各マニュアルを整えて職員に周知する機会はあるが、発生を想定した実際の訓練はまだ十分とは言えない 毎回テーマを定め、職員会議のときに対応を検討している	慢心せず、常に何が起きるかわからない危機感を持って、準備をしていきたいと思ます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	2	災害の発生に備え、備品の準備や、避難経路などを職員間で定期的に話し合うことはあるが、全員での訓練は行っていない。	事業所内だけでは十分な備えをすることは難しいため、法人本部や地域の関係機関との連携を図っていききたいと思ます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	年度の初めや変更があったときなど、その都度、保護者からの聞き取りやアンケート、職員の記録で確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	1	調理の活動を行う際は、保護者に食材を知らせ、アレルギーの確認を促し、参加時に職員が聞き取りを行い、医師の指示に基づく対応ができるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	室内において危険な場所や修繕の必要な場所があったら職員会議で話し合う。	今後も、安全に配慮して支援を実施していきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	受け入れのときに保護者からの要望やその日のこどもの様子は1人の職員が聞いている。担当職員にその内容が伝わっていたら、その日のこどもの様子を担当職員から保護者に話すことができると思う	ご家族への周知については、定期的に行っています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	書いてるけどこれはヒヤリ、ヒヤリじゃないの選抜をしている人も書いてない人もいるから線引き必要だと思った	どんな小さなことでもヒヤリハットを報告し共有し合うことで、安全にサービスを提供できるように努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	職員が全員参加する研修が本部により実施されている。	年間の研修計画に基づいて各種必須研修を実施しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	今年度は、身体拘束を行うような利用児はいませんが、職員会議や内部の研修で話し合っている。		